

<プランクトンテーブル>

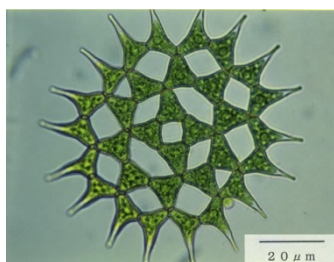
プランクトンの分類

プランクトンは、大きく分けて植物プランクトンと動物プランクトンの2種類に分けられます。

植物プランクトンは、①藍藻のなかま ②鞭毛藻のなかま ③珪藻のなかま ④緑藻のなかまなどに分類されています。水中で浮遊生活をしながら、光合成を行い、細胞内に葉緑体または葉緑素をもっているのが大きな特徴です。

動物プランクトンは、①節足動物のなかま ②ワムシのなかま ③原生動物のなかまなどに分けられます。植物プランクトンのように光合成をしないため、えさを求めて動き回るのが特徴です。

琵琶湖にしか存在しないプランクトン、すなわち固有種といわれるものは、ビワクンショウモやビワツボカムリがあります。



ビワクンショウモ



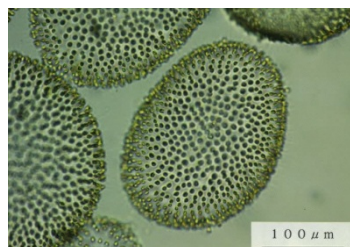
ビワツボカムリ



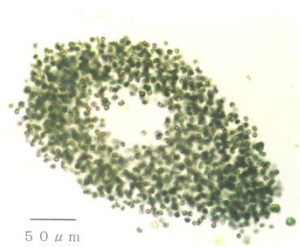
ゾウミジンコ (動物)

「水の華」と呼ばれる現象

水の色が赤味を帯びて、海で起こる赤潮に似ているものを淡水赤潮とよびます。その原因になっているのがウログレナです。また、藍藻類のプランクトンが大量に浮いてきて水面を緑色に変えてしまう場合は、緑色の粉を散らしたように見えることから「アオコ」と呼ばれているものです。その原因となるものがマイクロキスティスなどです。



ウログレナ



マイクロキスティス

(写真提供：滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)